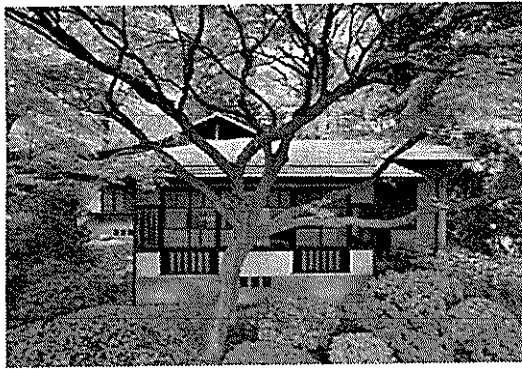


14年度技術遺産を認定

聴竹居に初の特別認定も

JABMEE



建築設備技術者協会（晴会長）は、14年度建築設備技術遺産の認定を行

った。今年度は新たに7件を認定。このほか、故藤井厚二氏の聴竹居Ⅱ写真Ⅱの建築環境設備技術に対し、初となる特別認定を行った。

同協会は、建築設備の技術や情報を次世代に伝えることなどを目的に空調、衛生、電気、搬送の4領域に関する技術と歴史的な足跡を示す資料、もしくは時代を反映する建築設備技術などを技術遺産として認定している。

12年度から認定を行っており、昨年度までに10件が認定されている。今回は、13年度申請のものから3件、14年度申請のものから4件を認定した。平川ボイラ便覧のように歴史的に大きな功績

がある資料や現存する最古のガス吸収冷暖房機、国産第一号となる高砂荏原式ターボ冷凍機など、歴史的・技術的価値のある機器が認定を受けている。

初めて特別賞に認定された聴竹居は、建築環境工学の開拓者で熱環境工学の確立者でもある藤井厚二氏の自邸。同氏の理論書「日本の住宅」で示す理想形を具体化した環境共生技術などが導入されている。「設備」一面を重視する技術遺産認定とするには違和感があるとの意見もだが、日本の住宅のあり方を追求した工夫が多数導入されていることなどから、特別認定を行った。

認定を受けた技術遺産は次の通り（聴竹居のみ特別認定）。

▽平川ボイラ便覧（管

理者・所有者Ⅱヒラカワ）
 ▽現存する最古のガス吸収冷暖房機（管理者・所有者Ⅱ宮城県管工事会館）
 ▽空気絶縁型バスタクトの絶縁ホルター（管理者・所有者Ⅱ共同カイテック）
 ▽TOTO歴史資料館所蔵の各種湯水混合水栓（管理者・所有者ⅡTOTO歴史資料館）
 ▽高砂荏原式ターボ冷凍機（国産第一号ターボ冷凍機）（管理者Ⅱ高砂熱学工業総合研究所、所有者Ⅱ同社技術本部）
 ▽UR集合住宅歴史館の住宅設備技術遺産および公団設置第一号昇降機（管理者Ⅱ都市再生機構技術研究所、所有者Ⅱ都市再生機構）
 ▽天然ガス利用第一号ガスコースエネレーションシステム（管理者・所有者Ⅱ東京ガス）
 ▽藤井厚二「聴竹居（自邸）」の建築環境設備技術（管理者Ⅱ小西伸一・荻野和雄、所有者Ⅱ小西章子）